

「議案第12号令和4年度千葉市一般会計予算」等の組み替えを  
求める動議について

標記の動議を提出します。

令和4年3月17日提出

提出者	千葉市議会議員	野本	信正
〃	〃	安喰	初美
〃	〃	椛澤	洋平
〃	〃	盛田	眞弓
〃	〃	中村	公江
〃	〃	福永	洋

「議案第 2 号令和 3 年度千葉市一般会計補正予算（第 1 4 号）」、「議案第 1 2 号令和 4 年度千葉市一般会計予算」、「議案第 1 3 号令和 4 年度千葉市国民健康保険事業特別会計予算」、「議案第 1 4 号令和 4 年度千葉市介護保険事業特別会計予算」、「議案第 1 9 号令和 4 年度千葉市競輪事業特別会計予算」、「議案第 2 5 号令和 4 年度千葉市学校給食事業特別会計予算」、「議案第 2 6 号令和 4 年度千葉市公債管理特別会計予算」、「議案第 2 7 号令和 4 年度千葉市病院事業会計予算」、「議案第 2 8 号令和 4 年度千葉市下水道事業会計予算」について、市長は、下記により速やかに組み替えを行い、再提出することを要求する。

## 記

### 1 組み替えを求める理由

#### (1) 地方自治の本旨に沿って住民福祉の増進を図る。

新年度予算は、新型コロナウイルス感染症対策、災害対策等の予算を前年度比で増額し、児童相談所の 2 所体制・職員定数 1 9 0 人増など前進面がある。しかし、国民健康保険料の引き上げや、子ども医療費の保険調剤自己負担の継続など、真に支援が必要な福祉を削る「弱い者いじめ」や「質の悪い福祉カット」を継続している。

日本共産党千葉市議会議員団は、新型コロナウイルス感染症対策に適切に対応し、命と健康、生活や経済への影響を救済するため、思い切った予算の計上を求める。

大型開発の大胆な見直しにより、市民生活、福祉の向上を図り、岸田政権の社会保障切り下げ、超軍拡予算を批判して、市民生活と地方自治を守る防波堤としての役割を果たし、市民に優しい予算とするため、神谷市長が提案した新年度予算の組み替えを求める。

#### (2) 市民生活優先の予算にする。

新年度一般会計予算は、歳入の根幹である市税が 1 2 9 億円増となるなど、前年度比で 2 2 0 億円増の 4, 8 8 4 億円と過去最大となった。この予算を活用するとともに、緊急性・必要性の乏しい事

業の見直しなどを行い、財源を確保して、市民生活優先の予算にすることを求める。

ア 最重要課題の新型コロナウイルス感染症対策に63億2,400万円が計上されているが、前倒しされ急がれている3回目の新型コロナワクチン接種者が20%未満の下、対象者全員の接種を急ぐため集団接種会場の増設などあらゆる可能性を追求する。

イ 前年度に引き続き行われる質の悪い福祉カットを中止する。心身障害者福祉手当カットを止め元に戻す。在宅高齢者等おむつ給付の所得制限改悪を元に戻す。生活保護世帯等の下水道使用料を元に戻し無料にする。子ども医療費の自己負担を2倍に引き上げた保険調剤の自己負担を中止する。弱い者をいじめて、真に必要な福祉を削り、他の福祉に配分することは、福祉全体を引き下げるものである。必要な財源の確保のため福祉を削るのではなく、福祉予算全体を増額する。

ウ 気候危機対策のカーボンニュートラルの実現は、待ったなしの重点課題であるが、新年度予算には有効な事業が見当たらない。CO2排出量削減のため、ほとんど行われていない市内CO2排出量最大の産業部門への規制を本気で行うとともに、容器包装プラスチックの資源化を速やかに実施するほか、新清掃工場ガス化溶解炉のCO2発生量削減対策を講ずる。

エ 市長は、質の悪い福祉カット等を市民に押し付ける一方で、大型開発9事業に188億円、前年度の大型開発事業と比べ52億6,000万円増の予算を計上している。以下のような大型開発は、緊急性・必要性の視点から大胆に見直しを行い、その財源を、新型コロナウイルス感染症対策、市民生活、福祉に振り向ける。

(ア) 市長は「都市の魅力向上」、「街の活性化」と称し、千葉駅周辺再開発に助成している。建築物の1階及び2階は住宅系の建築を規制しても、3階以上は駅前マンションとなることが想定されている開発に、市民の税金で応援することは止めて、福

祉事業などに回す。

(イ) 新庁舎の整備は、数年遅れても市政運営に影響はない。千葉公園体育館整備は、既存スポーツ施設の利用者16万人及びスポーツ関係者にしばらく我慢をお願いし、5年から10年延期する。新庁舎整備の136億4,300万円と競輪場、千葉公園体育館整備の33億8,800万円の合計170億3,100万円の予算は中止して、深刻な交通渋滞の解消などを急ぐことや、新型コロナウイルス感染症対策などに集中する。

(ウ) 幕張新駅設置はイオンの利用客を増やすための駅であり、そのために市が協力することは止めるように求めてきた。また、新駅海側約3.2ヘクタールの土地を用途変更して、ホテル建設が可能になったことにより、地権者であるイオンとJRに莫大な利益を保証することになった。一民間企業へ莫大な利益をもたらす事業に市民の税金をつぎ込むことは中止する。

(エ) 財政調整基金を幕張新駅と新庁舎整備などで生じた収支不足に活用することは、基金の理念に反するので中止する。

## 2 組み替えの内容

### (1) 対象事業

ア 新型コロナウイルス感染症対策に予算を増額する。

(ア) 3回目の新型コロナワクチン接種を加速させるため、医療機関に協力をお願いするとともに、集団接種会場を緑区に設置するなどあらゆる可能性を追求する。

(イ) 感染拡大防止のために高齢者施設や医療機関、学校、保育所・園等は定期的にPCR検査を無料で行うほか、市民全員に検査を拡大し、感染者を保護する。

(ウ) 医療崩壊を回避するため、医療機関への支援を大胆に行う。

(エ) 事業と雇用を継続するため、中小企業・個人事業者等への支援を強める。

(オ) ひとり親世帯、生活弱者への新たな支援を行う。

イ 市立病院の充実強化を図る。

公立病院が新型コロナウイルス感染症の治療に果たしている役割は絶大であり、さらなる充実が求められている。併せて市民の命と健康を守る拠点であり、市が進めている青葉病院の病床削減は中止して、拡充を図る。

ウ 質の悪い福祉カット、市民いじめを中止する。

(ア) 心身障害者福祉手当カットを止め元に戻す。

(イ) 在宅介護を受けている高齢者のおむつ給付の自己負担を10倍にした所得制限改悪を止め元に戻す。

(ウ) 生活保護世帯の下水道使用料を元に戻し無料にする。

(エ) 国民健康保険料の引き上げを中止する。

(オ) 子ども医療費の自己負担が2倍になる保険調剤の自己負担の導入を止め元に戻す。

エ 高齢者・子育て支援、若者対策を強化する。

(ア) 高齢者が元気になるよう100円でバスに乗車出来る敬老乗車券を発行する。

(イ) デマンドタクシー（乗り合い）は、交通不便地域と高齢者外出支援を一体に実現するため、当面は社会実験を行う。

(ウ) 市独自の給付型奨学金を創設する。

(エ) 公立保育所の建て替えは公設・公営で行う。

(オ) 学校給食費の第2子以降の無償化を進める。

オ 教育を充実する。

(ア) 小中学校35人学級を実現し、国への財政支援要請を強め30人学級を目指す。

(イ) 教職員の年度途中欠員を解消する。異常な長時間労働を改善する。

(ウ) 就学援助制度の基準を引き上げる。

(エ) 通学路の指定を緩和する。

カ 医療・保健・介護を充実する。

(ア) 両市立病院の充実と経営改善を行う。

(イ) 保健所体制の強化、2所体制を具体化する。

(ウ) 保健所をはじめ、公衆衛生の職員を充実する。

(エ) 介護職員の処遇改善を行う。

(オ) 心身障害者医療費助成制度を拡充する。

キ 災害に強い千葉市にする。

(ア) 地震・台風など自然災害に備え、道路・下水道・崖地等の安全をチェックし、予防する。

(イ) 台風・強風による停電対策として、倒木の危険がある樹木の事前伐採を、東京電力やNTTと協力して行う。

(ウ) コロナ禍における被災者の分散避難、マンホールトイレの整備、温かい食事の提供などに気を配る。

(エ) 避難所となる学校体育館にエアコンを設置する。

(オ) 地震に備え家具転倒防止金具の設置を促進する。

(カ) 危機管理部の職員増など体制を強化する。

ク 安全安心の街づくりを行う。

(ア) 道路上の消えている白線を整備する。センターライン等の改善を警察に要請する。

(イ) バス停のベンチ設置に対するバス会社への補助を強める。

(ウ) 交通渋滞が深刻な道路の改善を図る事業を急ぐ。

(エ) インクルーシブ公園を設置する。

(オ) 千葉交響楽団への支援を行う。

ケ 気候変動・地球温暖化防止対策を充実する。

(ア) 容器包装プラスチックの資源化を実施する。

(イ) 大量に発生する大企業の温室効果ガスの抑制措置を講ずる。

(ウ) 新清掃工場ガス化熔融炉のCO<sub>2</sub>発生量を低減させる。

コ ジェンダー平等、男女共同参画行政を充実する。

## (2) 組み替えの財源

緊急性と必要性が高い事業を優先するため、不要な事業を中止し、急がなくてよい事業を延期して歳出を削減し財源を確保する。

ア 大型開発の見直し

(ア) 新庁舎整備

(136億4,300万円)

- (イ) 競輪場、千葉公園体育館整備 (33億8,800万円)
- (ウ) 千葉中央港地区まちづくり (2,200万円)
- (エ) 中央公園・通町公園連結強化 (3,200万円)
- (オ) 千葉駅東口地区市街地再開発 (8,000万円)
- (カ) 千葉駅東口西銀座B地区優良建築物等整備  
(1億7,000万円)
- (キ) 新千葉2・3地区市街地再開発 (4億1,200万円)
- (ク) 幕張新都心拡大地区新駅(幕張豊砂駅)整備  
(10億3,100万円)

- (ケ) 蘇我スポーツ公園整備 (2,600万円)
- 市債を深刻な交通渋滞解消、新型コロナウイルス感染症対策、  
台風災害対策などに振り向ける。

イ 国・県などの事業に市が負担させられている費用等の見直し

- (ア) 県事業負担金千葉港湾整備等 (1億2,486万円)
- (イ) 国直轄事業負担金 (2億8,900万円)

ウ 自主財源の確保

- (ア) 財政調整基金の活用 (50億円)
- (イ) 資本金が10億円を超える法人に対する市民税均等割の制限  
税率の適用 (3億1,200万円)

以上総額245億2,986万円で、補助金等を差し引いた金額  
を、組み替えの財源にする。

(3) 市債の有効利用を図り、市民生活の向上を図る。

(4) 急を要さない大型公共事業のため、当初予算に計上した事業に係  
る市債及び債務負担行為を抑制する。